

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す。

きらきら通信

秋号
2017.11月



議会報告

豆知識

11月29日はぐんま・すき焼きの日

Shall we 投票？

常任委員会・県内調査

常任委員会県外調査

ぐんまの暮らしづくりに関する
特別委員会・県外調査

食品ロスをなくそう！

決算特別委員会



お挨拶 2017年秋

あっという間に冬の足音が聞こえてきました。皆さんにおかれましては、いかがお過ごでいらっしゃるか。

過日行われた第48回衆議院選挙においては、戦後2番目に低い53.68%という投票率でした。

多くの国民がなぜ解散し、なぜ選挙をするのか、そして何が争点なのか理解されなかつた。そして、希望の党に民進党が合流するという有権者に分かりにくい、納得のいかない政界再編のドタバタ劇が選挙直前に起きたことで、野党がしっかりと受け皿をつくれなかつたことが背景にあると思います。多様な社会の実態、多様な意見がある現代の社会においては、2つの選択肢のどちらかを選ぶと

いう簡単な時代ではありません。少子高齢化、財政難、医療や年金をどうしていくのか。安全保障の問題もしかり。今回の選挙結果を議論のきっかけにしていただき、国民の声を広く受け入れる国政を実現していただきたいと思います。

さて、群馬県においては、先日上野三碑が「世界の記憶」に登録されました。上野三碑は、アンネの日記やフランスの人権宣言に比べると知名度は低いかもしれませんか、それよりもはるか昔に、海を越えて、国を超えて、民族を超えて、人と人との交流があった貴重な証です。世界遺産の富岡製糸場と合わせて、群馬の歴史と東国文化をしっかりPRしていきたいですね！

11月29日はぐんま・すき焼きの日

上州和牛、こんにゃく、下仁田ねぎ、しいたけ、春菊、白菜。すき焼き自給率100%の群馬県では、2014年から県のおもてなし料理としてすき焼きを定着させる取り組みを実施しています。2015年にはすき焼きの日を制定しました。和牛の代わりに群馬の豚肉を使用したり、生卵の代わりに「やまといも」を使用したりと、地域によって色々なすき焼きが誕生しています。11月29日は、ぐんまの美味しい農畜産物を是非ご堪能ください。

県議会の豆知識

生産量全国ランキング

- | | | |
|---------|-------|----|
| 蒟蒻 | | 1位 |
| しいたけ・白菜 | .. | 4位 |
| ねぎ・春菊 | | 5位 |



わんぱく相撲全国大会



スマイルフェスティバルin前橋



前橋まつり



ホリデーインまえばし

議会報告

9月20日から12月15日までの87日間の会期で、平成29年第3回定期例会が開催されています。前期においては、東部児童相談所の移転整備や日赤病院建設事業費補助、九州の豪雨被害を踏まえた河川の防災対策、衆議院選挙にかかる経費など65億4336万円の一般会計補正予算を可決しました。また、決算特別委員会を設置し、平成28年度の決算審査を行いました。

環境農林常任委員会～以下の質問をしました～

- 市町村のごみ処理費用、広域化の取組について
- 太陽光の設置と山地開発について
- 竹林の整備と緑の県民税の市町村提案型事業について
- 産業廃棄物最終処分場の立地規制の見直しについて
- 農業分野における外国人の受け入れについて
- 農業所得の推移について

常任委員会・県内調査

2017.8.26

碓氷川森林組合

碓氷川森林組合は平成11年に松井田町森林組合と安中市森林組合が合併して発足した組合で、2015年には関東森林管理局と株式会社アイザックとの間で協定を結び、中国に約2600m³の丸太を輸出した実績があります。

組合の年間木材取扱量が5000m³強なので、この他に2000m³以上の輸出ができる、かなり大きな取扱になるとのこと。しかしながら、2015年当時125円だった為替が、現在は109円～115円と円高になった影響で今年度以降の輸出の見込みは立っていないそうです。

この秋から中国では木造建築の需要も増えていく予定なので、今後も為替と睨めっこしながら県としても県産材の輸出の道を研究していきたいですね！



碓氷製糸株式会社

こちらは今年の5月から株式会社として新たなスタートをきり、今まで以上に経営に力を入れているところです。なんといっても、全国で唯一、通年製糸を行っている会社。富岡製糸場と同じ機械が現役で稼働しているということで、見学者も増えているそう。施設見学ルートの整備や有料化についても今後取り組む必要がありますね。工場の建物も製糸機械もかなり年季が入っているのですが、養蚕・製糸は群馬のアイデンティティの一つなので、しっかりと後世に残していきたい産業（伝統）です。県庁地下一階の生協でも、絹石鹼やボディタオルなどの絹製品が購入できます。見かけたら是非お手にとてみてください。



Shall we 投票？

衆議院選挙の投票率

53.68%

群馬県の投票率

51.97%

前橋市の投票率

49.77%

東地区の投票率は…？

(※投票日当日のもの)

| | |
|---------------|--------|
| ① 東市民サービスセンター | 29.70% |
| ② 東小学校 | 26.61% |
| ③ 箱田中学校 | 31.27% |
| ④ 新田小学校 | 31.66% |
| ⑤ 東中学校 | 26.15% |
| ⑥ 大利根小学校 | 36.96% |

期日前投票が増えています！

過去最高の **50778人**



蚕糸技術センター一般公開



上野三昧ユネスコ「世界の記憶」登録祝賀セレモニー



東地区市民運動会



リレーフォーライフ

1日目 熊本県山鹿市にて、シルク・オン・パレー・ヤマガ(新シルク養蚕構想)について調査。

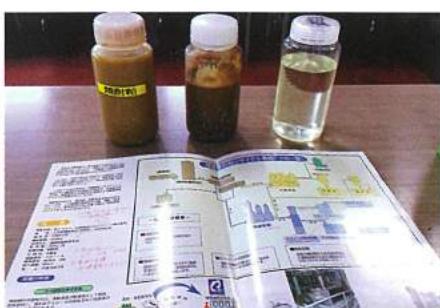
山鹿市と(株)あつまる山鹿ホールディングスが主体となって取り組んでいる産学官金の連携による革新的養蚕プロジェクトは、無菌養蚕工場で湿度・温度の管理を行い、年間24回の収繭を行うもので、今年度稼働したばかりの工場ですが、本格稼働すれば群馬と同じ年間50トンの繭が生産できること。15ヘクタールの天空桑園には8万本の桑が植えられ、群馬からも6000本の桑苗が来ているそうです。



このプロジェクトは、山鹿市の地方創生の三本柱(養蚕、ワイナリー、山鹿灯籠)の一つとなっており、地域の若者のほか、養蚕に携わってきた県のOBや研究者などの雇用の創出にも繋がっているとのこと。

人の手によらない養蚕は繭の大きさを揃えるのが課題で、現状では碓井製糸でひける様なものにはなっていないそうです。シルク製品以外にも良質なタンパクを持つ蚕の高付加価値製品(衣料品、医療分野、化粧品)の開発に力を入れていきたいということで、群馬県でも情報共有できることがたくさんありますね。

2日目 午前 球磨焼酎リサイクリーン株式会社を訪問し、焼酎粕のリサイクルについて調査



球磨焼酎で有名な熊本県人吉球磨郡内には、なんと28もの蔵元があり、税収、観光、外貨を稼ぐという意味でもこの地域に焼酎はなくてはならないものだそうです。

各蔵元から大量に排出される焼酎粕は、以前は海洋投棄されていましたが(栄養価が高いのでプランクトンにとっても好都合だったらしい)、法律改正により海洋投棄が禁止となったため、陸上処理の仕組みを構築したとのこと。

こちらでは、メタン発酵も検討したそうですが、蔵元によって粕の成分が異なるため、濃縮乾燥による処理方法をとっています。焼酎粕中の固形分は、飼料や肥料に、液中アルコール(エタノール)は回収して施設の燃料として利用することで100%リサイクルを達成。焼酎粕は蛋白質や脂質などの栄養価が高く、この飼料を活用してA5ランクの牛も飼育されているそうです。

地域に合わせた産業廃棄物の適正処理を推進していく必要がありますね。



2日目 午後 鹿児島県の山佐木材株式会社を調査

こちらは、全国で初めてスギ集成材のJAS認定を受けた会社で、昨年はスギCLTのJAS認定、耐火2時間構造大臣認定を取得し、全国に先駆けて集成材やCLTの推進、需要拡大に取り組んでいます。佐々木社長がCLTと出会ったのは2000年。訪問したドイツで既に実用化されている姿を見て、日本でも研究しなければ!と思ったそうです。ただ、日本では法整備も利活用もなかなか進まず、ヨーロッパに比べると20年は遅れている、という発言が印象的でした。

ちなみに、CLTは、軽い、丈夫(耐震性、耐火性、断熱性、防音性)、工期が短い(内

装や人工の費用削減)といったメリットがある反面、コスト的にはまだ割高となっています。



3日目 宮崎県の南那珂森林組合を訪問し、木材輸出の取り組みを調査

こちらの組合は、平成21年に韓国に木材輸出したのをきっかけに、平成23年には宮崎県・鹿児島県木材輸出戦略協議会を設立。現在は近隣の4つの森林組合が協議会に加盟し、韓国や中国への木材輸出を伸ばしているとのこと。

日本国内における大径材の需要は激減している一方で、中国では高度成長により木材使用量が激増し、生産が全く間に合わないため輸入に頼らないといけない状況になっているそうです。

木材輸出戦略協議会では、主に土木資材・梱包材としてB材、C材を輸出。平成23年に4690m³だった出荷量は平成28年には40887m³となっています。

こちらでは輸出の拠点となる志布志港が近いため、日本国内に流通させるよりも流通コストがかからず、しかも国内よりも取引価格が高いということで、輸出によって安定した量を消費できれば、地域の林業振興にも繋がりますね。



1日目 三重県菰野町の公共交通施策を調査

菰野町では「あいあい自動車（ライドシェア）」と呼ばれる公共交通空白地有償運送事業を実施しています。



- 社会福祉協議会が主体となって、リースした車両を活用(保険はリース会社で加入)
- 対象は高齢者または障害のある方で車の運転ができない方
- 利用したい人は会員登録をして、タブレットや電話で予約。
- 会費(タブレット利用代)が一月1296円、運行料は500円(15分圏内)で、毎月口座からの引き落とし。(現金のやりとりなし)
- ドライバーも地域住民の登録制で、謝金は一運行175円。

この事業を実施するにあたっては、町内の公共交通の現状と課題、住民ニーズを詳細に調査し、公共交通と住民ニーズのミスマッチを解決する方法の一つとして、既に福祉有償運送を実施している社会福祉協議会を主体にあいあい自動車という新たな公共交通を構築したそうです。

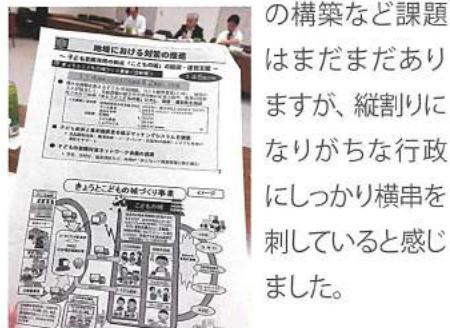
予算額が約100億円の菰野町では、コミュニティバスの運営に6000万円、あいあい自働車の実施に約500万円がかかっており、三重県からの財政的な支援は一切ないとのこと。群馬でも各市町村から県に対する要望が多くありますが、県と市町村との連携も大きな課題です。



2午前 京都府が実施している「きょうとこどもの城」事業を調査

この事業は様々な課題を抱える子どもや生活習慣の確立と学習習慣の定着を支援するため、こども食堂(食事の提供)や居場所づくり(生活・学習支援)、未来塾(学習支援)を実施する事業者を募集し、開設や運営を支援するもの。事業費は1億4500万円と予算もしっかりと確保。こども食堂等の設置にあたっては、各市町村に意見を聞いて地域や学校等と連携できる仕組みを作っているところが素晴らしいですね!

都市部と郡部の偏りや、社会福祉協議会、フードバンクとのマッチングシステム



の構築など課題はまだまだあります、縦割りになりがちな行政にしっかりと横串を刺していると感じました。

2日目 午後 京都市ひとり親家庭支援センター「ゆめあす」の調査



こちらでは、ひとり親家庭(母子、父子、寡婦等)に特化して、以下のサービスを提供しています。

- ①相談業務(養育費・面会交流相談、法律相談、生活相談)
- ②仕事の準備(就業相談、自立支援プログラム、パソコン講習、就職セミナー)
- ③仲間づくり(mama*cafe、親子の交流会)

ひとり親や貧困の支援は、本当に支援が必要な人に情報が届かなかつたり、な

かなか足を向けてもらえないという課題がありますが、ゆめあすではバーベキュー クッキング教室、メイクセミナーなど、興味を持って気軽に参加できる様々なメニューを用意して、支援に繋がるきっかけづくりをしているところに感心しました。京都ならではの着物等の着物貸し出し事業も嬉しいですね!

相談場所の周知とアウトリーチの重要性は群馬にもしっかりと持ち帰りたいと思います。



3日目 三重県庁にて、グリーン・ツーリズムを調査

三重県ではグリーン・ツーリズムに関して、「住む人」も「訪れる人」も相互に心の豊かさを実感できる「心豊かな里づくり」に取り組んでいます。また、「三重の里 いなかのススメ」のホームページを整備し、食べる、買う、泊まる、体験する、棚田オーナー、農地を借りる、温泉、田舎暮らしを分類し、わかりやすい情報発信を進めています。農業と観光と教育とインバウンドと公共交通など、連携の仕組みづくりが重要ですね。



食品ロスをなくそう！



群馬県で排出されたごみの約33%が「生ごみ」で、そのうち食べ残しや売れ残り、調理段階での仕込み過ぎなど、本来食べることができた部分を「食品ロス」といいます。食品ロスを削減するために、皆さんのご協力が必要です。

1 ぐんまちゃんの3キリ運動

- ★食材を使いきる
- ★料理を食べ切る
- ★捨てるときは水を切る

まずは家庭でできることから！冷蔵庫の中を確認して残っている食材から使いましょう。野菜や果物の皮の厚むきにも注意です。生ごみを捨てるときに水分を切るだけでも、ごみは減量できます。

2 ぐんまちゃんの30・10運動

宴会では提供された料理の19%が食べ残されており、食堂やレストランの昼食で食べ残される量の約8倍になります。宴会では、【30・10運動】を実践して食品ロスを削減しましょう。

はじめの30分は席を立たずに料理を味わう



終わりの10分間は自席に戻って残った料理を完食

宴会における1食当たり食べ残し量(飲料除く)



平成27年度食品ロス統計調査[農林水産省]

3 ぐんまちゃんの食べきり協力店

小盛りやハーフサイズのメニューがある、来店者の要望で量を調整する、食べきり特典がある、など食品ロス削減の取り組みを行っている飲食店、宿泊施設及び食料品小売店のみなさまを募集しています。登録店にはポスターとステッカーを配るほか、取り組み内容などを県HPで公開する予定です。



日本の食品ロスは年間632万トンとなっており(平成25年度)、主食であるコメの生産量とほぼ同じ。世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界全体の食糧援助料の約2倍となっています。

前橋市から出る生ごみは約4万トン(平成25年度)。このうち食品ロスは約1.6万トン。市民一人当たり、毎日おにぎり1個～2個捨てていることになります。ほんのちょっと意識するだけで食品ロスは減らせることができます。

世界の食糧援助量と日本の年間食品ロス

世界の
食糧援助量



2014年
320万トン

膨大な食品ロス
日本の
食品ロス



年間
約632万トン

農林水産省「平成28年食品ロス削減に向けて」

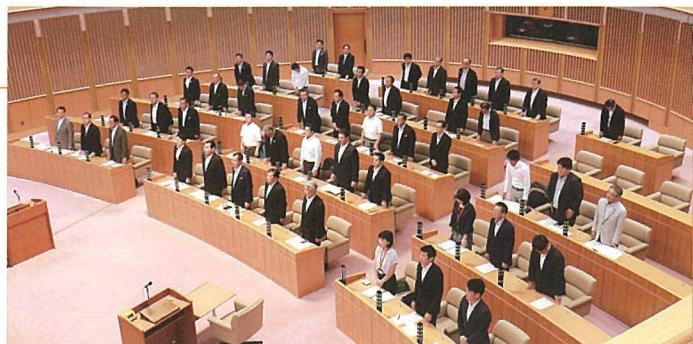
決算特別委員会

10月11日から11月2日までの間、決算特別委員会を設置し、平成28年度の決算審査を行いました。決算は、過去に実施した事業や予算の執行状況を見直し、来年度の予算編成に反映させる議会の重要な役割です。税金が適切に使用されたかどうか。効果はどうだったか。限られた予算の中で最大限の効果を上げられるように、しっかりとチェックする必要があります。

決算特別委員会の現地調査

決算審査に先駆けて、平成28年度に予算を執行した事業に関する現地調査を行いました。

- 歳入総額は7248億円、歳出総額は7164億円で、繰越財源を除いた実質収支は33億円の黒字
- 県債残高は43億円増加の1兆2012億円
(県民一人当たり62万円 毎年増えています)
- 積立金は94億円減の159億円
(平成元年以降最小です)



佐波伊勢崎 なす・きゅうり選果場

佐波伊勢崎農業協同組合は、群馬県の南部に位置し、なすときゅうりの生産が県内トップクラスの産地です。出荷作業の合理化による生産拡大、有利販売に加え、生産者がエコファーマーの取得に取り組むなど、産地の維持発展のため、販売額の15パーセント増加を目標として設定し、平成28年度に「産地パワーアップ事業」により、なす・きゅうり共同選果場を建設しました。農家さんにとっては、これまで野菜の選別、袋詰め、箱詰め作業にかかる労働力を軽減することができ、その分栽培管理に集中することができます。選果場では、100名を超えるパートさんが働いており(主に女性)、地域の雇用創出にも繋がっています。



ぐんま緑の県民基金事業 市町村提案型事業(利根郡)

ぐんま緑の県民基金事業(市町村提案型)は、市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体との協働による地域に根ざした整備を支援し、公益的機能の維持増進を図ることで、安全・安心な生活環境を創造することを目的としています。

みなかみ町では、「荒廃した里山・平地林の整備」の「困難地整備支援」を活用し、竹林を伐採、伐採後は地元団体(利根川源流森林整備隊)が同事業の「管理」を活用し、刈り払い等、継続的な維持管理を実施しています。3年間で確実に竹林が細くなっています。県内に広がる竹林対策の一つとして他の地域でも活用していただきたいですね!



活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 8月 1日 連合議員懇学習会
8月 5日 リード競技用クライミングウォール一般利用開始セレモニー 西箱田町、前箱田町、古市町他各地納涼祭、日本宇宙少年団前橋分団キャンプ
8月 6日 JP労組前橋支部定期大会、宮城地区他各地納涼祭
8月 12日 前橋JC主催スマイルフェスティバルイン前橋2017、前橋花火大会
8月 13日 まえばし農学舎主催ファーミングキャンプ
8月 15日 群馬県戦没者追悼式、前橋市戦没者追悼式
8月 19日 わくわく子どもまつり、江田町納涼祭他各地納涼祭
8月 20日 ホリデーインまえばし
8月 21日 前橋JC通常総会
8月 24日 環境農林常任委員会県内調査(碓氷製紙株式会社ほか)
8月 26日 司法修習第60期10周年記念大会
8月 27日 あきらの会ボウリング大会
8月 28日 国会見学バスツアー
8月 29日 特別委員会県外調査(三重、京都)
9月 2日 群馬県総合防災訓練
9月 6日 全国盲女性研修大会
9月 7日 尾瀬学校PR同行(箱田中、東中)
9月 8日 ドマーニ88絵画展
9月 9日 児童文化センター宇宙ワークショップ
9月 10日 JC群馬ブロック大会
9月 11日 政治スクール(講師:湯浅誠さん)
9月 13日 リベラル議員団会議、議会基本条例推進委員会
9月 14日 社会福祉法人恵風会理事會
9月 15日 前橋東口タリー合同例会
9月 16日 大利根小学校、東小学校、新田小学校運動会、ミートフェス、高崎城址公園憲法集会
9月 17日 日本宇宙少年団水口ケット全国大会
9月 18日 前箱田町、古市町、江田町ほか各町敬老祭
9月 20日 県議会平成29年第3定例会開会、前橋JC9月第一例会
9月 21日 情報労連群馬県協議会定期大会

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(初当選)。2015年・群馬県議会議員(現在2期目)・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
&ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



手をつなぐ育成会大会

投稿日: 2017年7月29日

今日は、群馬県手をつなぐ育成会大会に出席。

知的障害のある人々が、住み慣れた地域社会の中で、個人として尊重され、自己実現を果たせるように、みんなで手をつないで支えあっていこう。とても暖かい雰囲気に包まれた会場でした。

高齢化する障害者ご本人や家族への支援、インクルーシブ教育と特別支援教育の充実など群馬ができるることを一つずつ進めていきたいですね!

勉強を始めたばかりの手話。先日の一般質問でも自分の名前を手話で発表させていただきましたが、本日の手話通訳さんの手話も「渋川」や「福祉」などわかる単語がほんのちょっと増えてきました^_^

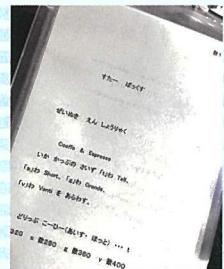


を呼ぶ、どの方向から声をかけているのか(右側から失礼します、右手の前にお皿をおきますね、など)

がとても重要だと感じました。「災害時の緊急メールやテレビの緊急速報は文字情報が主となっているがそれでは視覚障害者は認識することができない。」「賞味期限や消費期限の記載を含む商品情報が視覚障害者にもわかるようなシステム作りをしてもらいたい」「主要な交差点、医療機関、公共の施設などの周囲の交差点には設置を義務付けてほしい」など、生活の中から生まれる女性の意見はどれも切実なもの。しっかりと受け止めて、県の施策に活かしていきたいです。



そして、高崎モントレーのスタバには点字のメニューが登場^_^
期間限定ですが、全国盲女性研修大会のために、モントレーとイーサイトの飲食店では点字のメニューを用意してくれているそうです。点字メニューや筆談ボードが当たり前になる街づくりを目指します。



全国盲女性研修大会

投稿日: 2017年9月6日

昨日は高崎市で開催されている全国盲女性研修大会の懇親会にお邪魔させていただきました。小川あきらですという自己紹介では会場内にざわめきが…。ハッとした気づいて、「男性のような名前ですが、女性です」と付け加えました。誰が誰に話しかけているのか(〇〇さんと名前



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.<http://akira-o.jp> Email info@akira-o.jp

